

令和元年度 かごしま政策アイデアコンテスト



まちづくり×学力UP!



～離島に集合！学ぶ・楽しむ・つながる～

チーム：よこ

横山 太紀

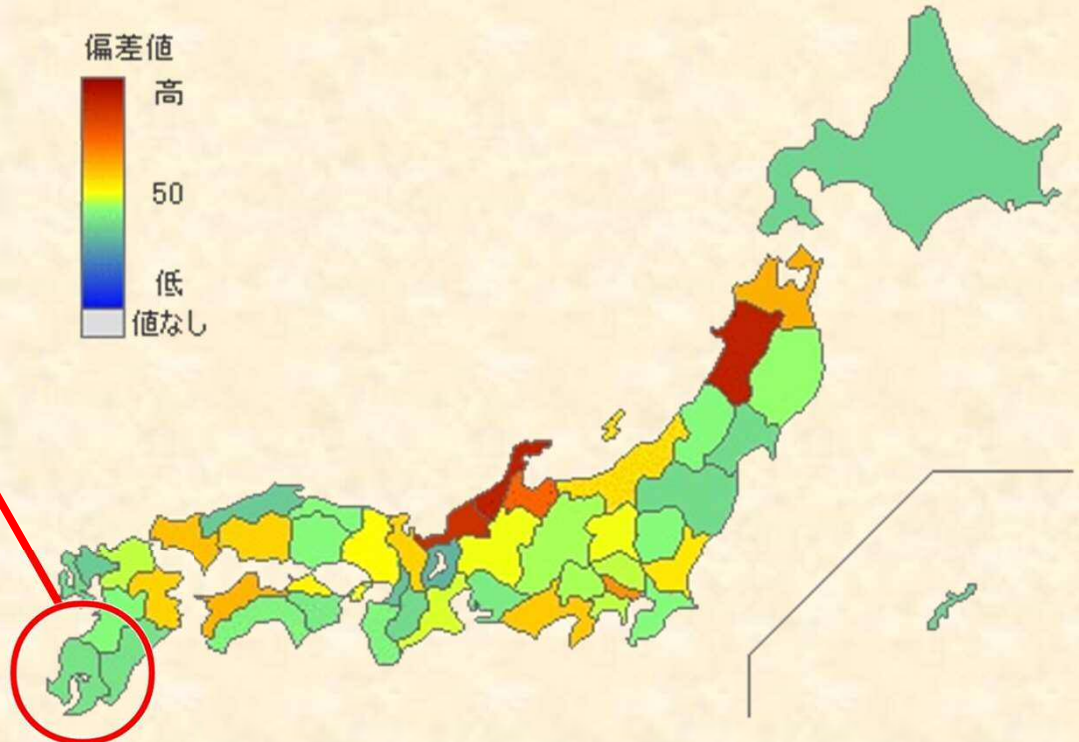
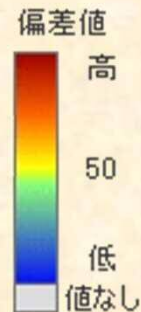
横道 うらら

鹿児島県の課題①

○学力の低さ

2019年全国学力テスト正答率

	都道府県	正答率(%)
1	石川県	69.3
1	秋田県	69.3
3	福井県	68.9
~~~~~		
36	鹿児島県	62.8
~~~~~		
47	滋賀	61.8
	全国平均	64.0



鹿児島県の全国学力テスト（対象:小学6年生、中学3年生）
の**正答率は全国平均より低い**

2019年全国学力テスト正答率
（都道府県別統計とランキングで見る県民性 [とどらん] より）
文部科学省 全国的な学力調査（全国学力・学習状況調査等）

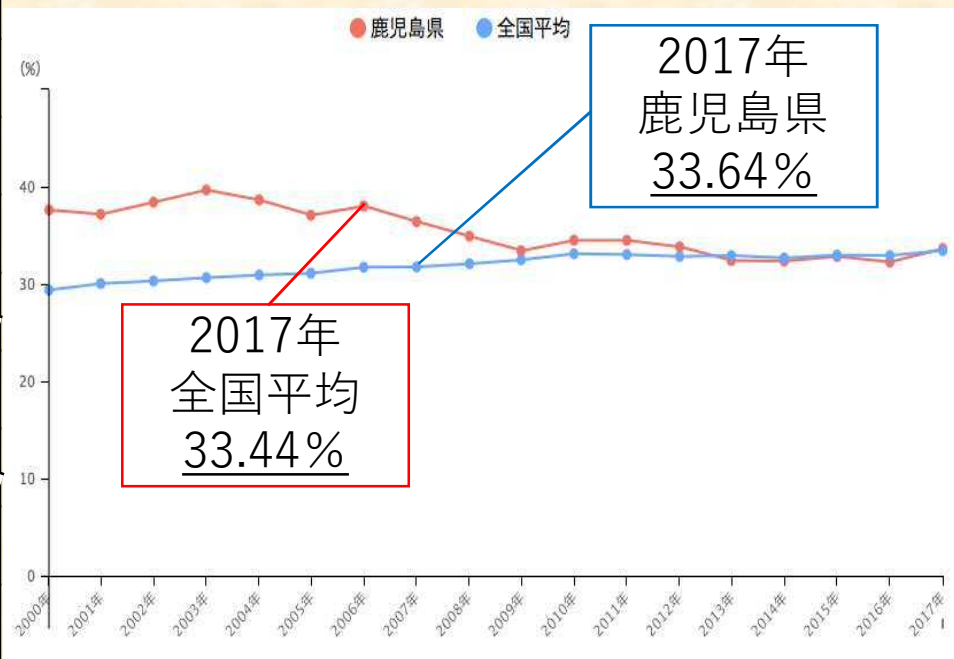
鹿児島県の課題②

○大学進学率の低さ

2019年度 都道府県別大学進学率

	都道府県	大学進学率(%)
1	京都	65.87
2	東京	65.13
3	兵庫	60.90
~~~~~		
45	鹿児島県	43.28
~~~~~		
47	沖縄	40.19
	全国平均	54.67

RESAS 地元進学率の推移
鹿児島県 大学進学



鹿児島県 { 大学進学率は **ワースト3位** (令和元年度)
 地元進学率は減少傾向にある。

鹿児島県の学力の現状

地区別の平均正答率

(1) 小学校

地区名	平均正答率		
	国語	算数	
鹿児島市	68	67	
鹿児島	67	66	
南薩	66	64	
北薩	65	65	
始良・伊佐	66	65	
大隅	64	63	
熊毛	66	65	
大島	65	65	
県平均	66	65	
全国平均	63.8	66.6	

(2) 中学校

地区名	平均正答率		
	国語	数学	英語
鹿児島市	73	61	58
鹿児島	71	57	56
南薩	70	55	51
北薩	69	55	52
始良・伊佐	70	56	52
大隅	67	53	49
熊毛	70	56	50
大島	65	49	47
県平均	70	57	53
全国平均	72.8	59.8	56.0

・鹿児島県の学力テストの結果を見ると、熊毛、大島（離島地域）はほとんどの教科において鹿児島県の平均、全国平均を下回っていることがわかる。

教育学習支援業

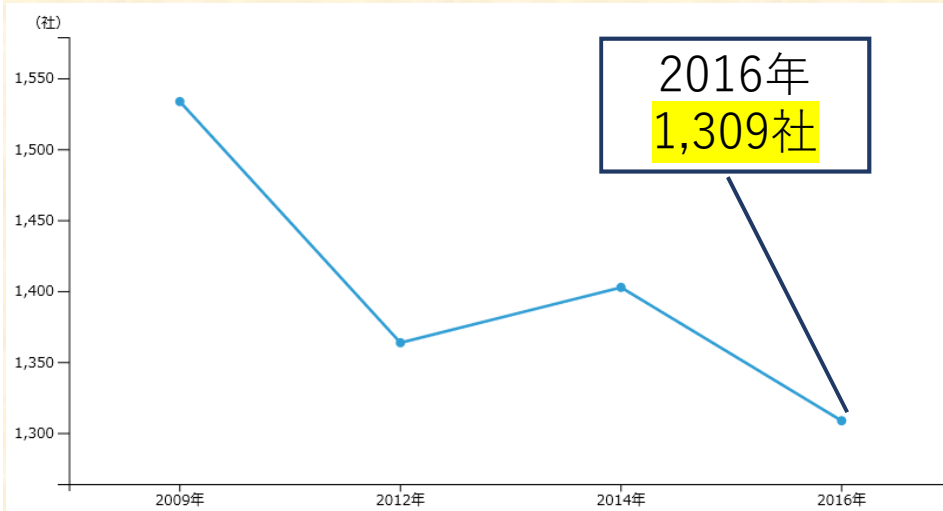
- ・ 鹿児島県全体では、教育・学習支援企業は1,309社あるが、そのうち511社は鹿児島市に集中している。

RESAS

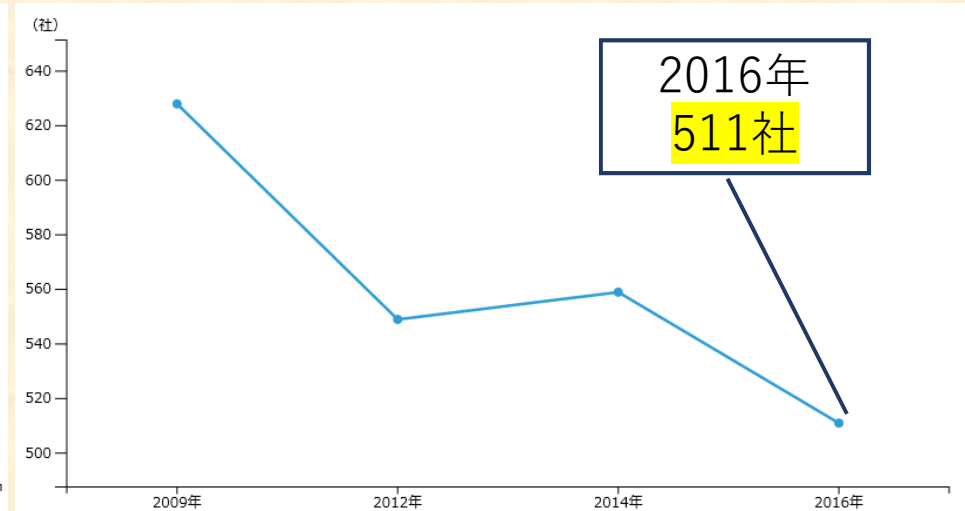
企業数

産業： 教育， 学習支援業 > その他の教育， 学習支援業

鹿児島県



鹿児島市



鹿児島では、教育・学習支援事業が鹿児島市に偏っており、**教育の機会が平等でない！**

最低賃金と平均年収

①最低賃金比較

1位 東京都 1,013円

⋮

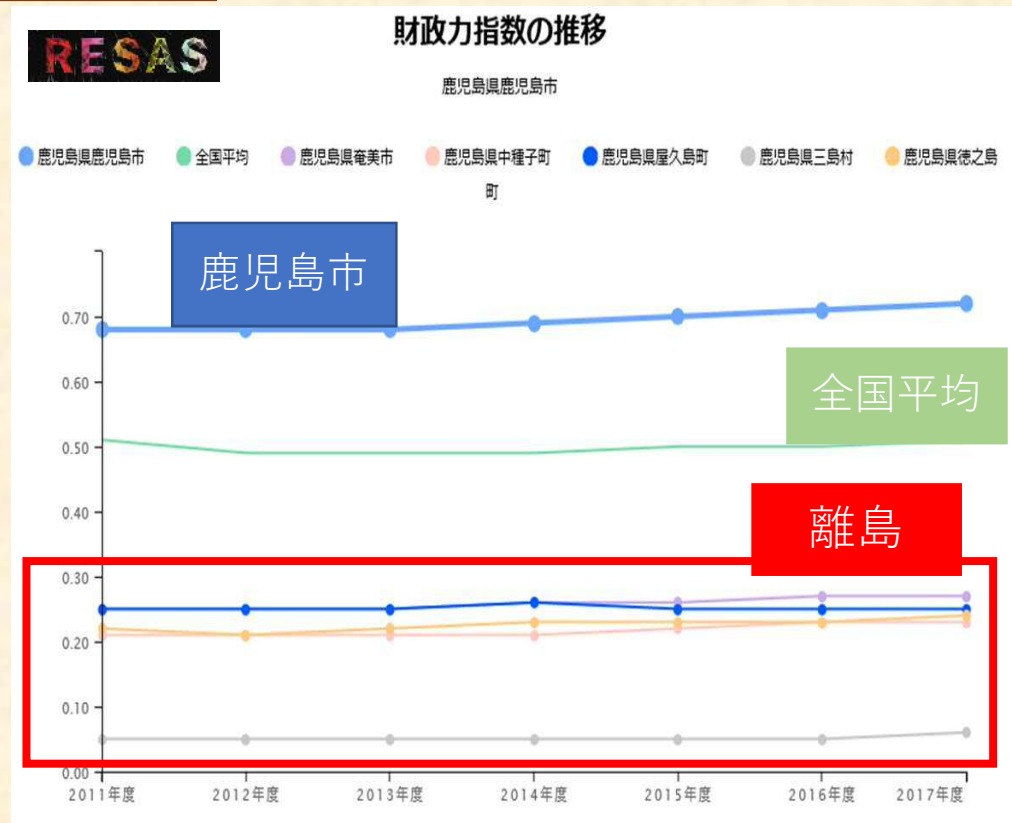
最下位 鹿児島 790円

②都道府県別年収ランキング

1位 東京都 622万2,900円

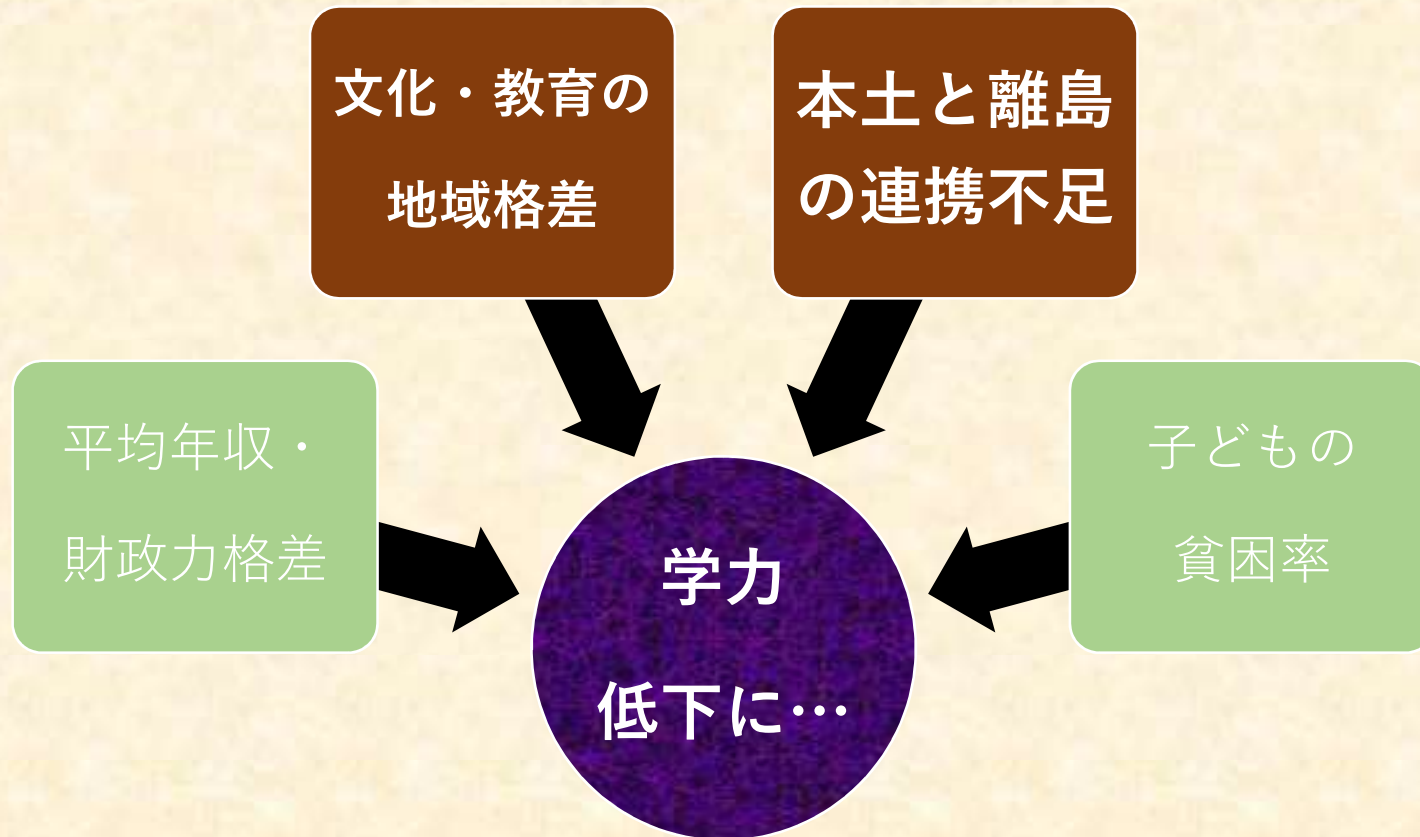
⋮

40位 鹿児島県395万3,700円



全国的に見て鹿児島県の最低賃金と平均年収は低くなっており、さらに鹿児島県内でも、鹿児島市と離島地域の財政力指数の格差が広がっている。

原因



勉強するきっかけをつくる必要がある！

データで見る教育格差https://gooddo.jp/magazine/poverty/children_proverty/59/

(<https://gendai.ismedia.jp/articles/-/55353>)

全国の取り組み

<学カテスト上位3県>

- ・ 〈秋田〉 …少人数授業の展開 充実した学習環境
- ・ 〈石川〉 …金沢大学と連携し、学習状況を分析→独自の学力改善政策を制定し、学習環境、質の向上に取り組む。
学力向上のための長期的な指針「いしかわ学びの指針12か条」を定める。ここでは、保護者や地域との積極的な連携や情報の共有も示されている。
- ・ 〈福井〉 …テストの結果を分析し、課題克服のための勉強指導方法を記した事例集を作成

共通点

- ・ 学力調査の結果を分析→課題を洗い出す→目標を立てるといふ課題克服の指導法を教育現場で実践というPDCAサイクルの構築になっている。
- ・ 家庭学習を「よく行っている」割合が高い。
(2018年学カテストより)

学力向上のポイント

- 学校での取り組みが充実している
- 家庭学習
- 地域との連携



鹿児島の小・中学生は共通して、
「地域社会でのボランティアを経験している」
「地域社会の行事に参加している」という項目の割合が高い。
(平成30年度全国学力・学習状況調査鹿児島県分析結果より)

鹿児島県の離島に注目

●鹿児島県の離島を検索すると…

『**結の精神**』がキーワードとなっている！

→住民が日常生活の中でお互いに助け合い支えあう精神
(相互扶助の精神)

例) 種子島 西之表市



島暮らしと「結(ゆい)」

種子島においても、市街地では都市圏同様に人と人とのつながりが希薄になりつつあります。島の各集落では自分たちの地域で、お互いに協力しあい支えあいながら、出来る範囲で明るく住みよいまちづくりを目指してがんばっている自主的な組織である自治会が地域社会を支えています。

一般的に「結」とよばれ、1人で行うには多大な費用や期間、労力が必要な作業を、集落の住民総出で助け合う風習があります。このような日本の各地に残る相互扶助精神が種子島の各集落でも息づいています。

鹿児島県の離島に注目

離島の地域性を**学力向上に
活かせるのでは？！**



● 離島の子どもたちに注目！！

大学に進学
する
イメージが
わからない？

新鮮な
環境・刺激
が必要？



離島で楽しく学習交流

政策

離島で学習交流をしよう！

- 場所：図書館、公民館
- 対象：離島の小学生、県内の小学生、地域住民、大学生
- 期間：1週間以内



<サポート体制>

鹿児島県(+市町村)

- ・ 中心となり事業を進める
- ・ 経費の補助

市町村

- ・ 場所の確保
- ・ 参加者の募集
- ・ 連絡調整

大学生

- ・ 学習補助
- ・ 食事の準備
- ・ 旅費など一部自己負担

地域の方々

- ・ 食事の提供
- ・ 地域活動の補助

<内容>

**長期休みに、小学生を対象とした
学習交流・イベントを離島で実施！**

①みんなで宿題

夏休みの宿題を中心に大学生が小学生の勉強を見守る

②科目ごとに個別で授業（苦手科目の克服）

③フィールドワーク

④**大学を知ろう！**（大学についての質問コーナー、大学の魅力を伝える講義）

具体的な活動内容

① みんなで宿題

- ・ しっかり時間で区切って勉強
- ・ 大学生が見回って教える
- ・ 子どもたち同士で学び合う時間も入れる

② 個別授業

- ・ 苦手な教科ごとに集まって学習
- ・ 一教科に何人か大学生が入る

具体的な活動内容

③ フィールドワーク

- ・伝統料理づくり
- ・伝統的なお祭りに参加
- ・空き家改修のお手伝い …
- ・自然と触れ合う→図書館の本、図鑑などを利用して調べ学習。学びを深める。

・体験学習や伝統行事にただ参加するのではなく、地域の人々と関わることで、より多くのことを学ぶことができる。

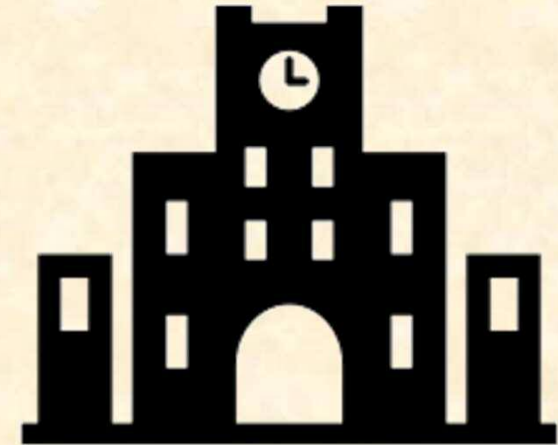
・地域住民と交流し、関わりをもつことで愛着がわき次につながる。

具体的な活動内容

④大学を知ろう！

• 授業のような感じではつまらないので…

1. 簡単に大学紹介
2. 何でも質問コーナー



●小学生が大学について知り、目指すきっかけになるように気軽に質問できる雰囲気作りが大事

<メリット>

鹿児島県

市町村

- 学力の低さの改善につながる
離島地域の学力底上げにより県全体の学力アップにつながる。

大学生

- 地域課題について深く学習できる
- 離島に住む人々とつながりを築ける

地域の方々

小学生

- 地域への愛着がわく
- 学力向上、大学進学への動機づけ

まとめ



地域の方々や大学生と交流することで
つながりが生まれる

この学習交流を通して、小学生が意欲
を持って学習するという習慣がつく

学習する意識が根付き次世代に
引き継がれる